

詩話^{しわ} 土たちの

 朝日美術館

濱田卓二 展



詩話 士たちの

濱田卓二 展

会 期

2023.10.7^土—11.26^日

会 場

朝日美術館

開館時間

午前9:00 - 午後5:00 (入館は4:30まで)

休 館 日

月曜日 (但し10/9は開館・10/10は休館)

主 催

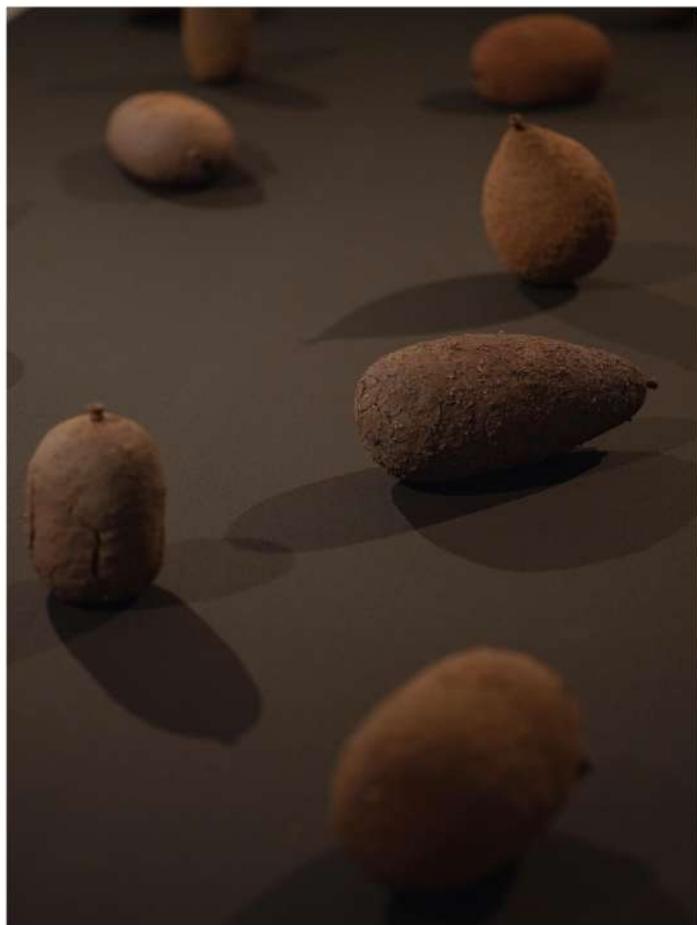
朝日美術館・朝日村教育委員会・朝日村

後 援

長野県 / 長野県教育委員会 / 信濃毎日新聞社 / 読売新聞松本支局
中日新聞社 / 市民タイムス / MGプレス / SBC信越放送 / NBS長野放送
TSBテレビ信州 / abn長野朝日放送













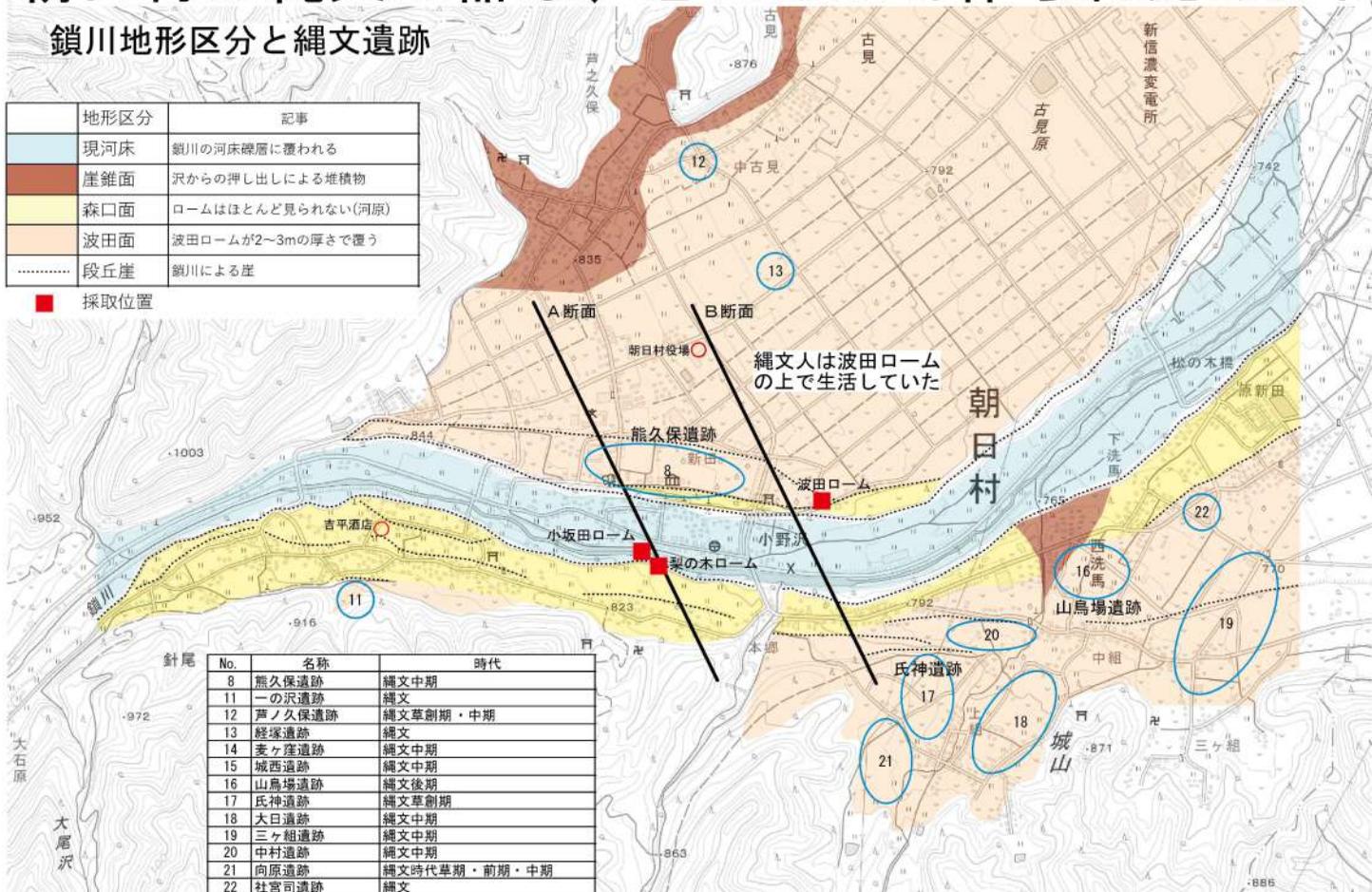


朝日村の縄文土器は、どこの土で作られたのか？

鎖川地形区分と縄文遺跡

地形区分	記事
現河床	鎖川の河床礫層に覆われる
崖錐面	沢からの押し出しによる堆積物
森口面	ロームはほとんど見られない(河原)
波田面	波田ロームが2~3mの厚さで覆う
段丘崖	鎖川による崖

■ 採取位置



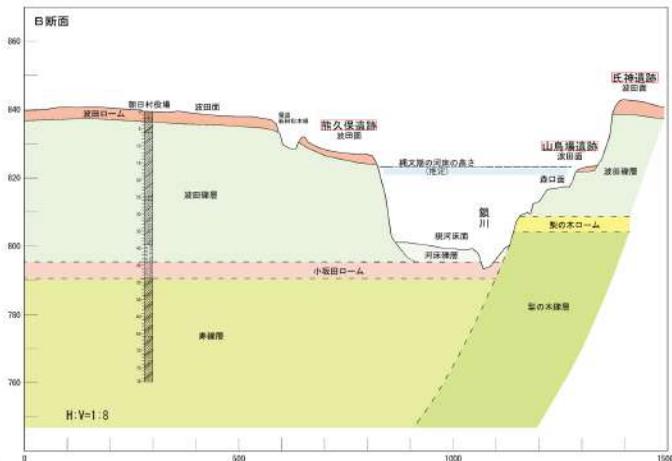
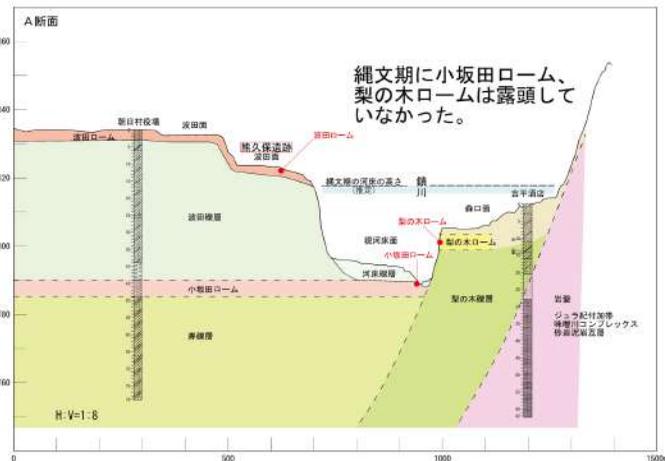
No.	名称	時代
8	能久保遺跡	縄文中期
11	一の沢遺跡	縄文
12	芦ノ久保遺跡	縄文草創期・中期
13	経塚遺跡	縄文
14	妻ヶ窪遺跡	縄文中期
15	城西遺跡	縄文中期
16	山鳥場遺跡	縄文後期
17	氏神遺跡	縄文草創期
18	大日遺跡	縄文中期
19	三ヶ組遺跡	縄文中期
20	中村遺跡	縄文中期
21	向原遺跡	縄文時代草期・前期・中期
22	社宮司遺跡	縄文



松本盆地の第四紀地質層序表

時代	松本盆地南部 (標準層序) *		水 河	火 山	標 高 変 動	朝日村の出来事 (朝日村史)	
	D-4層 砂岩層	地 層					化石層名
新 氷 期	3000	扇状地層等					
	2000	2 1 2					
	1500	3 1 2	森口礫層	カールの形成			
	1000	4 1 2	S-1 栗田礫層	水河の礫床大崩			
	500	5 1 2	Pre-1 千石礫層	水河の礫床大崩			
	0	6 1 2	Pre-2 本末山礫層				
	中 氷 期	15	梨の木 C4		リス氷期		
		60	C3		ミンデル		
			C2				
			C1				
旧 氷 期				ギュンツ			
				氷期			
第 四 紀 初期							
	200						

(松本盆地のおいたちをさぐる 1964 *標準層序は東海地質学会研究, 1982)





波田ローム(熊久保遺跡の東方500m) 1.5mの厚さ

波田ローム 新期御岳火山起源 5~2万年前
 小坂田ローム 新期御岳火山起源 10~5万年前
 梨の木ローム 古期御岳火山起源 69~58万年前

酒井潤一(2013)

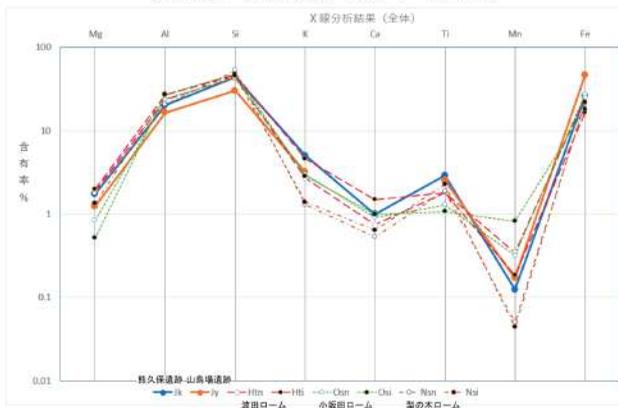


小坂田ローム(鎮川左岸河床)

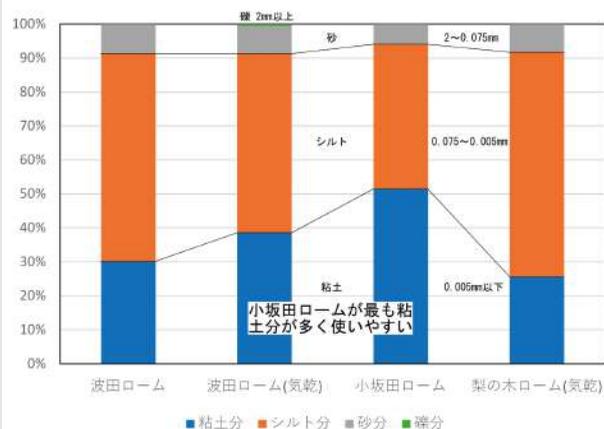


梨ノ木ローム(鎮川右岸段丘崖)

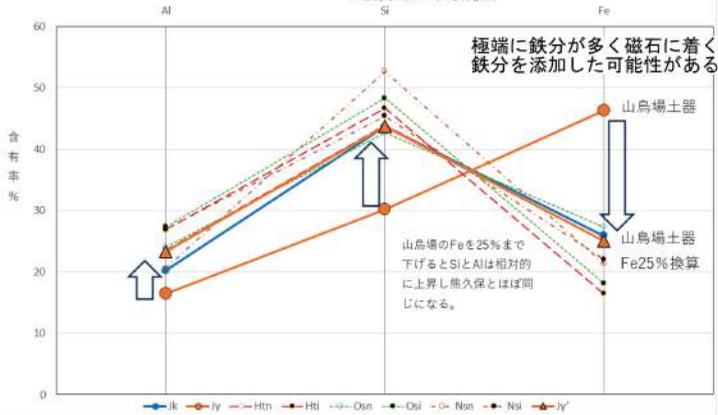
胎土分析(蛍光X線エネルギー分散型)



粒度分布



X線分析結果（主要元素）



胎土分析（名古屋工業大学宮崎研究室協力）



【現在までに分かってきたこと】

- ・朝日村の縄文遺跡は波田面の平坦な部分に認められます。つまり波田ローム層の上で生活していました。
- ・当時の河床面は熊久保遺跡のすぐ近くの高さにあり、水の確保や川での漁が容易でした。
- ・朝日村で利用可能な縄文土器の胎土としては、波田ローム、小坂田ローム、梨の木ロームが考えられますが、波田ローム以外は地中深く埋まっていたり当時は利用できなかったと考えられます。
- ・発掘された縄文土器と対象となるロームの成分の比較をすると、新期御岳火山起源である波田ローム、小坂田ロームと非常に近く、特に波田ロームに近いことが分かりました。
- ・採取されたロームの中では、小坂田ロームが粘土分が多く使いやすい胎土だと言えます。
- ・小坂田ロームは現在鎖川河床に露頭しており、長い時間水にさらされて風化が進行し粘土化が進んでいると考えられます。当時河床

が高く波田ローム層が水辺に露頭していたと考えられることから、土質的に近似した波田ローム層も風化が進行して作陶に適した土質になっていたと推定されます。

・波田ロームは鉄分の多い成分構成ですが、特に右岸側の山鳥場遺跡、氏神遺跡の土器片は鉄分が多く、なぞとして残ります。

朝日村縄文遺跡胎土研究グループ
濱田卓二（彫刻家）
下田 力（地質コンサルタント）
丸山真由美（朝日村教育委員会）

協力・助言
酒井潤一（信州大学名誉教授）
水沢教子（縄文土器研究家）
宮崎秀俊（名古屋工業大学准教授）
濱田晋一（名古屋工業大学准教授）





Hamada Takuji
2023